

質問

# 湯沢町公共交通運行入札制度の 取組みは



関 忠 夫

## 答 弁 入札制度を考えていかなければならない

**問** 湯沢町観光客入込の減少、町民外利用者の需要減等のマイナス要因による事業低迷、国土交通省の道路改正による特定特別監視区域指定等の規則緩和などと様々なマイナス要因のため、公益法人事業として健全な事業経営維持を困難にする状態となっている。

**湯沢町入札制度事業者** 参加については湯沢町一般乗用・貸切旅客自動車運送事業者を優先した入札制度にできないか。

**答** 納税者、雇用確保方々に対して、よく考えた上で入札制度というものを行っていかなければならない。町業者だけと限定して、町だけということになると様々な問題が出てくる。町は納税事

業者、雇用確保されている方々を真剣に考え中だけれどもこのような入札制度は考えていきたい。

## 質問 統合文教施設児童の 登下校はどのように

答 弁 いろいろ指摘があった。改善していく

**問** 11月21日湯沢学園へ行く、試験登校でどのような結果と問題点があったか伺う。

**答** 多くのボランティアの協力があつた。児童がバスに乗れない事で予定より時間がかつた。そのほかは特に問題はなかつた。保護者、ボランティアからは横断歩道の不備や、危険箇所指摘があつた。関係機関へ改善の要望を行っている。乗車場所の見直し、バスの乗車は低学年が先に乗車するルールなど確認した。

**問** 冬期間も試験登校を実施する予定はあるか。  
**答** 冬期間学校事業が多くあり実施は難しい。

児童の登校

